

教育保育目標: 『心もからだも健康な子ども』

●意欲をもって行動する子ども ●豊かな感性をもった子ども ●友達と仲良く遊ぶ子ども ●丈夫で元気な子ども ●気持ちや考えを伝える子ども

長時間にわたって同じ地域に大量の雨を降らせる線状降水帯。昔はなかった気象用語ですが、今では災害から身を守る大切な情報になりました。

この地域での線状降水帯の発生を気にしながら梅雨あけを待ち望んでいたところ。幸いこれまで大きな被害はなくほっとしていますが、じりじりと照らす夏の日差しや熱中症からどう子どもたちを守る

か…。あまりにも極端に変化する気象現象にほんろうされながらも、夏ならではの体験をたくさんさせたいと思っています。

きりん組の子どもたちが育てているキュウリやナス、トマトなど、夏野菜がたくさん実り始めました。



プール遊びが始まりました!!

7月上旬、楽しみにしていたプール開きがありました。その前から色々な水遊びが展開されていましたが、これからは本格的な水遊びです。身支度もできるところは自分で行き、やりたい水遊びに思う存分ひたります。気温が高い季節ならではの遊びです。この夏も子どもの「やりたい意欲」が存分にかなえられるよう、安全に気を配りながら、水遊びをさせたいと思います。(写真↓:左からことり組、あひる組、きりん組のプール開きの日の様子です。)



子どもの「水遊び」と「保育のまなざし」…内なる育ちを支える心…

乳幼児は水を使った遊びが大好きです。遊び始めると一日中ずっとやっているのではないかと思うほど夢中になって遊びます。

水は飲み水、料理に使う水、トイレで流す生活用水から、雨や川の流れ、水たまり、水滴、雪、氷…身の回りには様々な形で存在します。

『子どもはなぜ水が好きか?』とよく問われます。遊びの中で最初のベースになる「感覚遊びとしての魅力」

があるからだと言われます。確かに水は物を手で触った時に受ける硬さや柔らかさも違う感覚(触覚)、物に当たる時に音(聴覚)、飲んだ時の感覚(味覚)、無色有色(視覚)など色々な刺激があることが魅力なのかもしれません。同じ水でも様々な違いが不思議さにつながり、子どもの興味・関心を引き付けるのでしょう。

子どもが水に関わろうとするもう一つの魅力として、発達させた感覚器官を総動員して、周囲の自然や事物



↑ 雨の降り始め、わざわざ雨が当たるテラスに出て感触を確かめる子



2歳児

3歳児
→ 晴れた日、テラスに水をまき、濡れると色が変えることや、↑ だんだん温まることを発見。うれしいのか友達にも教える子



3歳児



5歳児

↓ 色水遊びはどの学年の子どもたちにも人気。混ぜて起こる不思議な変化をみんなで楽しむ子

を試行錯誤しながら理解する時の面白さがあると思います。自分の世界観、物の認識を深めようとする知的作業としての魅力です。水は知的好奇心を刺激する最も身近な素材なのかもしれません。

生命の源である水、時には命を奪うこともある水、その認識を自分なりに深める入口に立つ子どもたち。

「子どもの発達のために無駄な行為はない」と言われます。やりたい気持ちを尊重し、その姿から成長を感じとり、応援する保育者でありたいと思います。

お知らせ と お願い

【 コロナウイルスの感染予防対策を… 】

以前より人の往来や交流が盛んになっているからでしょうか再び感染者数が増加しているようです。園に報告される件数も増えています。引き続きご協力をお願いします。

- 新型コロナウイルス感染症が5類に移行しましたが、園の対応に変更はありません。他の感染症も流行しています。
 - ・ 感染症を疑う、発熱、咳、嘔吐、下痢、目の充血、目やに等の症状があった場合は、受診をして安全が確認された後の登園をお願いします。
 - ・ 一緒に園に通っている兄弟姉妹も、本人が受診して安全が確認された後の登園をお願いします。
- ご家族に体調不良の方がいる場合も登園を控えてください。

★ 【 夏季休園(お盆)期間中の保育について 】

8月12日(土)から16日(水)までの間、夏季休園として通常保育を行いません。夏季休園期間中、お仕事などでお子さんの面倒を見ることができない方には、希望保育を実施します。

実施する日: 8月12日(土)14日(月)15日(火)16日(水)
(「夏季休園時希望保育意向申出書」の提出によります。)

★ 【 ラジオ体操出席カードについて 】

郵便局からいただいたラジオ体操カードは、ご家庭で自由にお使いください。終了後、園に提出する必要はありません。

- 2日(水) えいごであそぼう
- 3日(木) 避難訓練
- 5日(土) 希望保育
- 7日(月) 中学生保育現場体験
えいごであそぼう
- 8日(火) 中学生保育現場体験
- 11日(金) 祝 山の日

- 12日(土) 夏季休園・希望保育
~16日(水)18日(金) 食育の日
- 19日(土) 希望保育
- 24日(木) 避難訓練
- 25日(金) 園だより配付
布団・靴持ち帰り
- 26日(土) 希望保育
- 31日(木) 各種たより配付

ほいくの窓 ※このコーナーは特別支援教育部が担当しています

どう乗り切る? イイヤヤ期!

2歳前後になると、個人差はありますが、何をしても「やだ」と言ったり、急に怒って泣いて手がつけられなくなったりする時期があります。俗に「イヤイヤ期」「魔の2歳児」と言われ、困っているお家の方もいらっしゃるのではないのでしょうか?

例えば、トイレに行った後に「パンツはこうね」と言うと「やだー!」…そんな時は「そっか、イヤなんだね」とまずは気持ちを受け止めます。そして、2枚のパンツを見せて「どっちにする?」または「一人で履く?お手伝いして履く?」などと選んでもらうと、すんなり履いてくれることもあります。「自分で!」と言う時には見守り、できたらいっぱい褒めてあげましょう。途中でできなくて「履かせて〜!」と甘えてきた時には快く応じてあげてくださいね。「できた!」という気持ちを大切にしながら「できなくても大丈夫だよ」「どんなあなたも大好きだよ」というメッセージを送り続けると、子どもは自分が尊重されていると感じ、だんだんと自分で考えて行動できるようになります。それこそが「主体性」の第一歩です。「イヤイヤ期」「反抗期」という否定的な響きですが、自立と甘えのはざまで揺れ動くお子さんを丸ごと受け入れてあげてほしいな…と思います。



「先生!見て!自分で履けるよ!」と真剣にズボン履く姿です。自分でできるって簡単なようで、なかなかできないこと。「すごいね!」と声をかけると得意そうな2人でした。

自分でできると思ったことがうまくいかず癪癪を起こしたり、気持ちが崩れたりするお子さんと毎日一緒にいると、お家の方が辛くなってしまうことがあるかもしれません。そんな時は深呼吸して「わが子が大人になるステップなんだ!」とドンと構え、気長につき合ってもらえたらいいですね。どうしても辛い時には、園にご相談ください。園とご家庭でのお子さんの関わり方を一緒に考え、イヤイヤ期を笑顔で乗り切りましょう!